

中核機関のH20主要成果とH21目標、課題

資料4-1

項目		H20主要成果	H21目標、課題
ポータル	DBカタログ	196DBの情報を追加し、合計596DBの情報を公開	1,000DBの情報を掲載
	横断検索	前年度16DBに220DBを追加し、計236DBの横断検索実現	横断検索をベースに統合検索化の検討
	アーカイブサイト	受入れDB運用システムを構築、11DBのダウンロードを可能に	受入れシステム機能向上と15DBの受入れ
	日本語文献	蛋白質核酸酵素、ゲノム特定報告書、学会要旨など内容充実	コンテンツの拡充策検討要
	統合TV	動画解説サービス統合TVを新たに96件開発、トータル155件	統合TV100件追加とサイトとしての高機能化
統合DB	バンク目次	DNA配列バンク、発現バンクの更新と検索時間の一桁向上	配列、発現、多型、構造データの統合サイト構築
	多型情報統合	東大Grと連携したデータ共有方針の策定とデータ評価法の検討	データ共有方針の実行とハプロデータの組込み
	高度情報集積DB	ソーシャルブックマーキング型のアノテーション情報106,974件公開	アノテ情報4万件追加と植物関連DB統合
	微生物アノテパイプライン	配列を全自動で解析してアノテーションを付与するb-MiGAPを開発	b-MiGAPの普及と上級者向けシステム構築
ツール	アナトモ/BodyParts3D	解剖用語数計642を公開、新規アナトモグラフィビューア開発	辞書の多言語化、構造化、医師Grによるレビュー
	辞書ツール	遺伝子名辞書管理用のデータ形式を開発、635,329件の名称管理	辞書の拡充公開と生物アイコンの付加情報充実
	キュレーションツール (WiredMarker等)	21回の機能向上と公開、URLの自動キャッシュとDB化、PDF対応	文献解読システムを活用しバクテリア特徴表試作
基盤技術	ワークフロー	蛋白質の網羅的情報取得、比較情報提示のワークフロー公開	立体構造予測及び独自ワークフロー構築環境開発
	ウェブサービス	TogoWSのGalaxyへの組込みとBioHackathon 2009の開催	BioHackathonの継続による標準化イニシアチブ
	テキスト処理	専門用語辞書構築のための表記ゆれや内部構造の解析機能開発	論文執筆支援や自然文からのクエリ作成システム
その他	人材育成	DB構築者11名、高度利用者30名、アノテータ養成310名を実施	3つのプログラムの継続とプロジェクトでの活用
	講習会、展示会等	講習会計6回、展示会、シンポ計4回、ニュース配信計74件	プロジェクトシンポ(6/12済)、学会、展示会6回
	ユーザ評価	92名の評価者による評価の実施と結果の公開、サービスへの反映	評価者の拡充によるユーザフィードバックの実施

分担機関、補完課題実施機関のH20主要成果とH21目標、課題

機関		H20主要成果	H21目標、課題
分担機関	京都大学	構造検索とパスウェイ検索、階層分類検索との統合を実現し、公開7DBをキーワード検索対象DBに追加、3DBをLinkDB検索対象DBに追加	化学反応ネットワーク予測システムその他の公開統合DBプロジェクト内DBとの連携検討
	東京医科歯科大学グループ	肝細胞癌、大腸癌、口腔癌、頭頸部癌、パーキンソン病のオントロジー整備 癌250症例、神経疾患400症例を統合、GeMDBJの癌症例400も統合	オントロジー、検索エンジン、インタフェイス等高度化 限定公開サイトのPRと公開できるデータの公開促進
	東京大学グループ	標準SNP DB 500検体公開、Case-Control DB 8症例を公開 ALSリシーケンスDBを構築(共有方針確定後公開)	CNVのCase-Control DB構築、リシーケンスDB拡充 データ共有方針、手順を定め再配布サービスを開始
補完課題実施機関	理化学研究所	シロイヌナズナの発現、表現型、リソースに関する計6DBを統合化して公開 高等動植物由来に関してはタンパク3000の2万件の回折実験データを公開 微生物由来に関しては200件の回折実験データその他を公開	植物、立体構造データアノテーション付けと公開継続 公開DBデータのダウンロード可能化推進 理研DB群を対象とする横断検索対象DBの拡大
	産総研糖鎖医工学センター	8DB(産総研内4DB、外部4DB)のキーワードによる横断検索を実現、公開中 構造検索、部分構造検索による横断検索機能の開発完了	糖鎖データ統合への参加機関の決定とDB普及活動 オンラインプロトコル整備、糖鎖に関する情報発信 統合検索機能の開発スタート
	国立遺伝学研究所	トレース用FTPサーバを構築し、2件のデータのFTP公開を開始 トレースデータ検索サイトを構築し、2009年4月より外部公開	トレースアーカイブの運用継続と必要に応じた改良 ショートリードアーカイブへの取組み開始
	九州工業大学	蛋白質と変異体の熱力学と構造データ対応表1,100件と相互参照作成 蛋白質と核酸の相互作用の熱力学データの対応表700件と相互参照作成	蛋白質の熱力学に関わるデータと相互参照作成継続 文献収集とデータ抽出自動化技術開発(中核と連携)